

( 附属 ) 新県立博物館基本計画関連データ集

目 次

		ページ
資料 1	主な道府県立博物館の概要データ	1
資料 2	エリア面積他館比較表	2
資料 3	三重県内における博物館の設置状況	3
資料 4	都道府県立公文書館の概要データ	6
資料 5	三重県立博物館の概要	9
資料 5 別紙	三重県立博物館所蔵資料の概要	1 2
資料 6	三重県生活・文化部 文化振興室(県史編さんグループ)の所蔵資料の概要	1 4
資料 7	県立博物館整備に関する経緯	1 5
資料 7 別紙	県立博物館整備に関するこれまでの検討内容の概要	1 6

## (資料1)

## 主な道府県立博物館の概要データ

三重県生活・文化部作成

博物館名称	館種 *(1)	開館 年月(日) (改修年 月(日))	面積(m <sup>2</sup> )* <sup>(2)</sup>			平成19年度職員数 (館長を除く)					所蔵資料 点数	平成18年 度年間入 館者 総数
			延床面積	展示面積	収蔵庫面積	事務系		学芸系				
						常勤	非常勤	常勤	非常勤	派遣		
(参考) (現)三重県立博物館	総合	S28.6.26	3,176	333	1,718	1	2	6	2		280,000	16,977
1 岩手県立博物館	総合	S55.10.5	12,052	3,406	1,666	4		17	12		166,016	38,240
2 東北歴史博物館	歴史	H11.10.9	15,446	3,321	1,107	8		21	12		70,000	123,891
3 秋田県立博物館	総合	S50.5.5 (H16.4.29)	11,946	3,620	1,999	3	2	18	15		109,294	103,701
4 福島県立博物館	総合	S61.4.1	11,071	2,815	2,295	6		20			100,031	81,955
5 ミュージアムパーク 茨城県自然博物館	自然史	H6.11.13	11,995	4,157	854	11	2	16	5		194,143	418,785
6 栃木県立博物館	総合	S57.10 (H11.3)	11,159	2,938	2,057	8	14	15	9		229,242	118,605
7 千葉県立中央博物館	総合	H1.2.7	15,254	4,291	4,151	12		47			582,782	178,509
8 群馬県立自然史博物 館	自然史	H8.10.22	12,122	2,818	842	9	8	9	1		80,000	166,629
9 神奈川県立生命の 星・地球博物館	自然史	H7.3.20	19,064	5,075	1,433	13	13	20			336,435	241,549
10 山梨県立博物館	歴史	H17.10.15	8,761	2,765	1,458	8	20	11			206,894	124,697
11 新潟県立歴史博物館	歴史	H12.8.1	10,841	3,540	1,570	5	1	15			40,000	63,315
12 長野県立歴史館	歴史	H6.11.3	10,457	1,570	1,860	3	5	19	4		273,647	112,230
13 福井県立恐竜博物館	自然史	H12.7.14	15,000	4,995	951	4	4	11	12	4	5,621	297,904
14 岐阜県博物館	総合	S51.5 (H7.3)	10,593	2,975	1,097	7	1	15	9		63,361	72,837
15 滋賀県立琵琶湖博物 館	総合	H8.10.20	23,987	6,106	5,000	11	4	26	11		380,000	476,563
16 兵庫県立人と自然の 博物館	自然史	H4.10.9	18,691	4,049	2,951	14		36	2		74,321	206,605
17 広島県立歴史博物館	歴史	H1.11.3	8,941	2,368	1,364	3	1	9	2		1,000,000	89,073
18 鳥取県立博物館	総合	S47.10.1	9,699	2,694	258	7		19	1		108,966	85,646
19 島根県立古代出雲歴 史博物館	歴史	H19.3.10	11,855	3,317	2,131	11	1	10	1		旧館から 移管中	*平成 <sup>^</sup> -入 で20万人
20 香川県歴史博物館	歴史	H11.11.16	19,656	2,746	2,833	7	4	17	2		207,768	100,075
21 愛媛県歴史文化博物 館	歴史	H6.11.19	18,036	4,406	2,050	11		13			400,000	85,494
22 長崎歴史文化博物 館	歴史	H17.11.3	13,309	3,216	1,050	7	3	13			48,000	609,424
23 宮崎県総合博物館	総合	S46.3 (H10.5)	8,314	3,397	1,545	5	1	9	11		88,558	172,587
24 沖縄県立博物館・美 術館	総合	H19.11.1	23,602	5,167	4,065	8		18	4		83,688	開館前
(平均) *(3)			13,827	3,573	1,941	7.7	5.3	17.7	6.6	4	210,816 *(4)	180,378 *(5)

\*(1)館種は「全国博物館園職員録(平成19年)」(財団法人日本博物館協会編集・発行)を参考としました。

\*(2)アンケートで小数点以下があった場合は四捨五入して整数にしています。

\*(3):三重県立博物館は含みません。\*(4)\*(5):島根県立古代出雲歴史博物館は含みません。\*(5):沖縄県立博物館・美術館は含みません。

本表は平成19年7月に三重県が実施した全国の都道府県立博物館へのアンケート調査の結果をもとに作成しました(参考として、表の冒頭に(現)三重県立博物館のデータ(平成20年9月現在)を記載しました)。

総合系博物館又は平成元年以降に開館した博物館のうち、延床面積8千㎡以上のものについてまとめました。

エリア面積他館比較表

三重県生活・文化部作成

エリア	新博物館		新博物館 (1期想定分)		他館集計値		岩手県立 博物館		栃木県立 博物館		千葉県立 中央博物館		山梨県立 博物館		滋賀県立 琵琶湖博物館 (水族部門除く)		島根県立 古代出雲 歴史博物館	
	面積	%	面積	%	(1) 平均面積	% (1)/(2)	面積	%	面積	%	面積	%	面積	%	面積	%	面積	%
エントランスエリア	360	3.0%	360	3.6%	930	7.2%	750	6.2%	298	2.7%	833	5.4%	475	5.4%	2,343	11.9%	880	7.6%
交流創造エリア	1,470	12.3%	1,270	12.7%	1,016	7.9%	986	8.2%	474	4.2%	633	4.1%	1,288	14.7%	1,389	7.1%	1,323	11.4%
展示エリア	2,100	17.5%	2,100	21.0%	3,460	27.0%	3,256	27.0%	3,254	29.2%	4,323	28.2%	2,838	32.4%	4,066	20.7%	3,021	26.1%
収蔵エリア	3,950	32.9%	2,730	27.3%	2,759	21.5%	1,859	15.4%	2,487	22.3%	4,197	27.4%	856	9.8%	4,647	23.6%	2,509	21.7%
調査研究エリア	750	6.3%	690	6.9%	864	6.7%	872	7.2%	596	5.3%	1,353	8.8%	342	3.9%	1,540	7.8%	478	4.1%
管理エリア	480	4.0%	410	4.1%	526	4.1%	457	3.8%	642	5.8%	435	2.8%	358	4.1%	823	4.2%	441	3.8%
機械エリア	800	6.7%	700	7.0%	*(a) 988	7.7%	1,182	9.8%	623	5.6%	905	5.9%	943	10.8%	4,875	24.8%	1,289	11.1%
共用	2,090	17.4%	1,740	17.4%	*(a) 2,285	17.8%	2,690	22.3%	2,785	25.0%	2,655	17.3%	1,661	19.0%			1,634	14.1%
合計	12,000		10,000		*(b) (2) 12,828		12,052		11,159		15,334		8,761		19,683		11,575	

(面積:m)

\*(a) 機械・共用エリアから滋賀県立琵琶湖博物館のデータを除いています。

\*(b) 各エリア面積の他館平均値の合計です。

※他館の選定については、比較的新しい県立の総合博物館を中心に、規模、構成などを加味して行いました。

※各館のデータについては、入手している資料を参考に、新県立博物館の検討内容とエリア構成が同様になるよう再整理した面積を記載しています。そのため、各館が公表している各エリアの面積とは相違している場合があります。

※各エリアの面積は、共用部分(便所、廊下、階段、エレベーター等)を除いた面積です。

※新博物館のエリア面積には公文書館機能相当分が含まれていますが、他館には含まれていません。

## (資料3)

## 三重県内における博物館(相当施設・類似施設を含む)の設置状況

三重県生活・文化部作成

博物館名	区分			登録指定又は 設置年月日	設置者 または 管理者	種別	所在地
	登録博物館	博物館相当施設	三重県博物館協会会員				
三重県立博物館	○		○	S28.6.16	三重県	総合	津市
三重県立美術館	○		○	S57.4.1	三重県	美術	津市
斎宮歴史博物館	○		○	H1.10.18	三重県	歴史・考古	明和町
桑名市博物館	○		○	S46.2.24	桑名市	美術・歴史	桑名市
四日市市立博物館	○		○	H5.4.1	四日市市	総合	四日市市
澄懐堂美術館	○		○	H6.4.3	(財)澄懐堂	美術	四日市市
鈴鹿市考古博物館	○		○	H10.10.1	鈴鹿市	考古	鈴鹿市
亀山市歴史博物館	○		○	H6.9.7	亀山市	歴史	亀山市
パラミタミュージアム	○		○	H16.3.15	(財)岡田文化財団	美術	菟野町
朝日町歴史博物館	○		○	H10.11.9	朝日町	歴史	朝日町
石水博物館	○		○	S50.12.24	(財)石水博物館	美術	津市
松阪市文化財センター(はにわ館)	○		○	H15.3.21	松阪市	考古・歴史	松阪市
本居宣長記念館	○		○	S46.11.13	(財)鈴屋遺蹟保存会	歴史	松阪市
神宮徴古館	○		○	M44.4.1	(宗)神宮	総合	伊勢市
神宮農業館	○		○	M44.4.1	(宗)神宮	総合	伊勢市
神宮美術館	○		○	H5.9.8	(宗)神宮	美術	伊勢市
海の博物館	○		○	S46.12.7	(財)東海水産科学協会	民俗	鳥羽市
伊賀流忍者博物館	○		○	H20.2.18	(社)伊賀市観光協会	歴史・民俗	伊賀市
二見シーパラダイス		○	○	S41.4.29	(株)夫婦岩パラダイス	水族	伊勢市
鳥羽水族館		○	○	S33.2.1	鳥羽水族館(株)	水族	鳥羽市
志摩マリンランド		○	○	S47.10.7	近畿日本鉄道(株)	水族・化石	志摩市
木曾岬町文化資料館			○	H2.6.23	木曾岬町	民俗	木曾岬町
藤原岳自然科学館			○	S48.4.1	いなべ市	自然	いなべ市
桐林館			○	S59.2.11	いなべ市	自然・民俗	いなべ市
東員町郷土資料館			○	S51	東員町	民俗・考古	東員町
菟野町郷土資料館			○	S53.11.3	菟野町	歴史・民俗	菟野町
川越町郷土資料館			○	H6	川越町	民俗・歴史	川越町
朝日町資料館			○	S53.11.3	朝日町	民俗	朝日町
六華苑			○	H5.6.5	桑名市	建造物	桑名市
桑名市長島町輪中の郷			○	H5.5.2	桑名市	産業・民俗	桑名市
桑名市郷土館			○	S57.5.24	桑名市	民俗・考古	桑名市
楽翁公百年祭記念宝物館			○	S9.5.13	(宗)鎮国守国神社	歴史・美術	桑名市
四日市市楠歴史民俗資料館			○	H17.4.29	四日市市	歴史・民俗	四日市市
下野郷土資料館			○	S55.3.20	下野地区連合自治会	民俗	四日市市
平津町郷土資料館			○	S49.11.3	平津町自治会	民俗・考古	四日市市
あがた郷土資料館			○	S56.11.22	あがた郷土資料館運営委員会	民俗	四日市市
三重郷土資料館			○	S52.11.13	三重郷土資料保存会	歴史・民俗	四日市市
神前郷土資料館			○	S58.11.6	神前社会福祉協議会	民俗	四日市市
小山田郷土資料館			○	S51.4.1	市立小山田小学校PTA	民俗	四日市市
四郷郷土資料館			○	S58.11.3	四郷郷土資料保存会	産業・民俗	四日市市
秤乃館			○	H3.5.11	個人	歴史	四日市市
佐佐木信綱記念館			○	S61.5.28	鈴鹿市	文学	鈴鹿市
稻生民俗資料館			○	H5.4.4	鈴鹿市	民俗	鈴鹿市
大黒屋光太夫記念館			○	H元.12.9	鈴鹿市	歴史	鈴鹿市

博物館名	区分			登録指定又は 設置年月日	設置者 または 管理者	種別	所在地
	登録博物館	博物館相当施設	三重県博物館協会会員				
伊勢型紙資料館			○ ○	H9.4.1	鈴鹿市	歴史	鈴鹿市
庄野宿資料館			○ ○	H10.4.1	鈴鹿市	歴史	鈴鹿市
伝統産業会館			○	S58.4.15	鈴鹿市	工芸	鈴鹿市
前川定五郎資料館			○	H4.11.7	鈴鹿市	歴史	鈴鹿市
高宮資料館			○ ○	S55.4.18	加佐登神社奉賛会	考古	鈴鹿市
鈴鹿サーキット万葉の森			○ ○	S52.4.10	(株)モビリティランド	植物	鈴鹿市
関町まちなみ資料館			○	S63.7.13	亀山市	民俗	亀山市
関宿旅籠玉屋歴史資料館			○	H9.4.1	亀山市	民俗・歴史	亀山市
かめやま美術館			○ ○	H6.7.20	(株)安全	美術	亀山市
津市埋蔵文化財センター			○	H6.11	津市	考古	津市
谷川土清旧宅			○	S54.7.1	津市	史跡	津市
津市香良洲歴史資料館			○	H6.11	津市	歴史	津市
津市一身田寺内町の館			○	H14.11.9	津市	歴史	津市
津市安濃郷土資料館			○	H17.10	津市	歴史	津市
津市芸濃郷土資料館			○	H17.12	津市	歴史	津市
津市美里ふるさと資料館			○	H16.5	津市	歴史	津市
津市美杉ふるさと資料館			○ ○	H3.5.19	津市	歴史・民俗	津市
津市白山郷土資料館			○	H7.5.28	津市	郷土資料	津市
高田本山専修寺宝物館			○ ○	S37.4.1	真宗高田本山専修寺	歴史	津市
ルーブル彫刻美術館			○ ○	S62.12.16	個人	美術	津市
J A三重中央 郷土資料館			○ ○	H17.12	三重中央農業組合	郷土資料	津市
松阪市嬉野考古館			○	H5.6.15	松阪市	考古	松阪市
松浦武四郎記念館			○ ○	H6.7.3	松阪市	歴史	松阪市
松阪市立歴史民俗資料館			○ ○	S53.11.1	松阪市	歴史・民俗	松阪市
松阪商人の館			○	H8.10.1	松阪市	史跡	松阪市
伊勢市立郷土資料館			○ ○	S60.9.1	伊勢市	考古・歴史・民俗	伊勢市
伊勢古市参宮街道資料館			○	H7.10.7	伊勢市	歴史	伊勢市
尾崎号堂記念館			○	H15.11.15	伊勢市	歴史	伊勢市
山田奉行所記念館			○	H18.5.9	伊勢市	歴史	伊勢市
伊勢河崎商人館			○	H14.8.25	伊勢市	歴史	伊勢市
お伊勢まいり資料館			○	S51.4.1	伊勢郷土史研究会運営委員会	歴史・郷土	伊勢市
皇學館大學佐川記念神道博物館			○ ○	H元8.12	皇學館大學	考古・歴史	伊勢市
金剛證寺宝物館			○ ○	S40.10.1	(宗)金剛證寺	歴史	伊勢市
マコンデ美術館			○ ○	H3.9.26	個人	美術	伊勢市
真珠博物館(ミキモト真珠島)			○ ○	S26.3.11	(株)御木本真珠島	歴史・科学	鳥羽市
志摩市立磯部郷土資料館			○ ○	H元.8.18	志摩市	民俗	志摩市
志摩市立阿児資料館			○	H6.7.7	志摩市	民俗	志摩市
志摩 鈴ミュージアム			○	H18.11.3	個人	民俗	志摩市
大山玉宝美術館			○ ○	H19.10.20	個人	美術	志摩市
多気町郷土資料館			○ ○	H5.11.20	多気町	考古・歴史	多気町
勢和資料館			○	H9.7	多気町	歴史	多気町
明和町立歴史民俗資料館			○ ○	H3.7.13	明和町	歴史・民俗	明和町
大台町民芸館			○	S53.6.1	大台町	民俗	大台町
村山龍平記念館			○	S58.4.1	玉城町	考古・歴史	玉城町
度会町郷土資料館			○	H元.10.31	度会町	民俗・歴史	度会町
大紀町郷土資料館			○	H11.4.4.	大紀町	民俗	大紀町
おおみや昆虫館			○	H6.6.26	大紀町	自然	大紀町

博物館名	区分			登録指定又は 設置年月日	設置者 または 管理者	種別	所在地
	登録博物館	博物館相当施設	三重県博物館協会会員				
愛州の館			○ ○	H7.4.1	南伊勢町	郷土・歴史	南伊勢町
伊勢現代美術館			○ ○	H15.4	個人	美術	南伊勢町
旧崇廣堂			○	H6.12.4	伊賀市	史跡	伊賀市
城之越遺跡			○	H9	伊賀市	史跡	伊賀市
旧小田小学校本館			○	H7.10.15	伊賀市	建築物、教育	伊賀市
大山田郷土資料館			○	H4.3.31	伊賀市	歴史・民俗	伊賀市
阿山ふるさと資料館			○	H7.7.3	伊賀市	郷土・民俗	伊賀市
俳聖殿			○	S17.9.2	(財)伊賀文化産業協会	文学	伊賀市
伊賀上野城			○ ○	S10.10.18	(財)伊賀文化産業協会	歴史・産業	伊賀市
養虫庵			○	S13.1	(財)芭蕉翁顕彰会	史跡	伊賀市
芭蕉翁生家			○	S30.8.25	(財)芭蕉翁顕彰会	史跡	伊賀市
芭蕉翁記念館			○ ○	S34.10.12	(財)芭蕉翁顕彰会	文学	伊賀市
だんじり会館			○ ○	H6.12.5	(社)伊賀市観光協会	歴史	伊賀市
伊賀越資料館			○ ○	S43.8	(社)伊賀市観光協会	歴史	伊賀市
伊賀信楽古陶館			○ ○	S53.3	(社)伊賀市観光協会	美術	伊賀市
伊賀くみひもセンター			○	S53.4.13	三重県組紐協同組合	工芸	伊賀市
上野歴史民俗資料館			○	S11.7.1	伊賀市	歴史・民俗	伊賀市
柘植歴史民俗資料館			○	H13.4	伊賀市	歴史・民俗	伊賀市
名張市郷土資料館			○	S62.7	名張市	歴史	名張市
名張藤堂家邸			○	H4.11.1	名張市	史跡	名張市
夏見庵寺展示館			○	H7.7.7	名張市	歴史	名張市
美旗市民センター歴史資料館			○	H10.4.1	名張市	歴史	名張市
名張市立図書館江戸川乱歩コーナー			○	S62.7	名張市	文学	名張市
日本サンショウウオセンター			○ ○	S57.10.29	赤目四十八滝渓谷保勝会	水族	名張市
尾鷲市立中央公民館郷土室			○ ○	S55.6.30	尾鷲市	郷土	尾鷲市
熊野市歴史民俗資料館			○	H12.2.1	熊野市	民俗・歴史	熊野市
熊野市紀和鉢山資料館			○ ○	H7.4.1	熊野市	鉢山・民俗	熊野市
紀伊長島郷土資料館			○ ○	H18.12.1	紀北町	歴史・民俗	紀北町
海山郷土資料館			○ ○	S55.3.1	紀北町	歴史・民俗	紀北町
紀宝町ふるさと資料館			○	H10.10.1	紀宝町	民俗・歴史	紀宝町
鶴殿ふるさと歴史館			○	H10.11.1	紀宝町	歴史	紀宝町

(計 122館)

本表は、『平成19年度 便覧 生涯学習社会の形成をめざして』（三重県教育委員会）をもとに、時点修正（平成20年9月11日現在）を行って作成したものです。

# 都道府県立公文書館の概要データ

(資料4)

三重県生活・文化部作成

	公文書館名称	開館 年月日	延床面積 (㎡) *(1)	書庫面積 (㎡) *(2)	中間 書庫 の有無 *(3)	中間 書庫 面積 (㎡) *(4)	閲覧室 面積 (㎡) *(4)	職員数 * (5) (館長を除く)						
								事務系		専門系				
								常勤	非常勤	常勤	非常勤	派遣		
	(参考) 三重県生活・文化部 文化振興室 (県史編さんグループ)	H6年度より 公文書選別 実施		現在の 収蔵 スペース 405㎡	ない									
1	北海道立文書館	S60.7.15	1,901	824	ない		224	8	6	3				
2	宮城県公文書館	H13.4.1	2,390	1,382	ない		378	4				5		
3	秋田県公文書館	H5.11.2	2,485	1,838	ない		334	9	7	6	4			
4	福島県歴史資料館	S45.9.1	1,671	1,211	—		120		4	5				
5	茨城県立歴史館	S49.9.3	8,438	1,562	ない		53	13	16	19	10			
6	栃木県立文書館	S61.10.1	1,268	539	ない		91	1		4	8			
7	群馬県立文書館	S57.11.1	5,766	3,056	ない		162	4		9	12			
8	埼玉県立文書館	S44.4.1	6,507	3,165	ない		372	5		13	8			
9	千葉県文書館	S63.6.15	6,009	2,161	ない		76	7		3	39			
10	東京都公文書館	S43.10.1	8,550	1,941	ない		121	12	11					
11	神奈川県立公文書館	H5.11.6	9,956	3,189	ある	370	639	6		15	8			
12	新潟県立文書館	H4.8.7	900	617	ない		73	5	1		6			
13	富山県公文書館	S62.4.1	3,997	2,178	ある	948	147	2		3	7			
14	福井県文書館	H15.2.1	3,119	1,390	ない		146	2		3	6			
15	長野県立歴史館	H6.11.3	10,457	1,570	ない		159	3	4	18	4			
16	岐阜県歴史資料館	S52.7	1,783	556	ない		104	3	2	4	3			
17	愛知県公文書館	S61.7.1	2,166	1,229	ない		285	3	6	1	3			
18	京都府立総合資料館	S13.11.15	13,743	2,792	ない		1,060	12			1			
19	大阪府公文書館	S60.11.11	1,146	569	ない		90	2	5		3			
20	兵庫県公館県政資料館	S60.4.17	665	1,213	ある	814	52	3	1		2			
21	奈良県立図書情報館	H17.11.3	11,821	1,232	ない		4,552	8		17				
22	和歌山県立文書館	H5.7.	1,378	927	ない		171	9	3		4			
23	鳥取県立公文書館	H2.10.1	1,728	458	ある	250	257	2	3	2	2			
24	岡山県立記録資料館	H17.9.7	1,701	761	ない		約157	2		3	7			
25	広島県立文書館	S63.10.1	2,530	1,045	ある	書架延長 1,213m	203	2		5	6			
26	山口県文書館	S34.4.1	1,232	788	ない		209	(3)		6	1			
27	徳島県立文書館	H2.11.3	2,246	884	ない		124	2	2	2	6			
28	香川県立文書館	H6.3.28	4,558	1,833	ない		249	3	5	1	6			
29	大分県公文書館	H7.2.28	2,105	1,034	ない		98	4	5					
30	宮崎県文書センター	H14.7.17	1,083	書架延長 4,500m	ある		67		10					
31	沖縄県公文書館	H7.8.1	7,758	3,235	ない		253	4	2	9	21	2		

	公文書館名称	H19年度 入館者・ 利用者数 (人) *(6)	収蔵資料数			設置状況	類型
			歴史的 公文書	古文書	その他(刊行物、図書等)		
	(参考) 三重県生活・文化部 文化振興室 (県史編さんグループ)		選別公文書 4,192 明治期県庁 文書絵図 11,619	前近代 29,005 近現代 50,920	刊本・複製本37,629 映像フィルム・写真6,239 調査カード綴1,210	—	—
1	北海道立文書館	2,917	52,195	私文書 33,447	刊行物180,169	—	B
2	宮城県公文書館	1,456	31,981	—	刊行物4,739 ネガ・マイクロフィルム3,182 絵地図1,465	NPOプラザ・生涯 学習セミナー・ルームと 複合施設	A
3	秋田県公文書館	11,883	72,853	58,328	刊行物18,471 その他2,363 複製本9,002	図書館と併用	A
4	福島県歴史資料館	10,923	48,876	155,021	刊行物44,936 その他4,236		C
5	茨城県立歴史館	入館者数 93,976 利用者数 140,858	67,370	212,571	刊行物58,395 その他(図書)60,550	博物館機能と 一体化	C
6	栃木県立文書館	4,700	57,420	241,012	マイクロフィルム(巻)3,947 写真帳7,955	県庁東館の一部	B
7	群馬県立文書館	10,500	140,895	357,692	刊行物27,621 マイクロフィルム(巻)3,064 焼付プリント7,438		B
8	埼玉県立文書館	54,570 (うち 利用者数 20,256)	138,044	598,628	行政刊行物21,576 複製資料8,087 県史編さん資料46,382 図書57,905 地図等63,876	県の行政機関と 併用	B
9	千葉県文書館	20,791	71,156	431,126	行政資料83,524 その他56,392		B
10	東京都公文書館	閲覧者数 3632	168,000	8,000	刊行物79,500 図書等70,100 地図類1,500		A
11	神奈川県立公文書館	9,311	187,713	128,524	刊行物145,637 その他170,263		A
12	新潟県立文書館	1,629 (入館者・レ ファレンス)	36,000	211,000	刊行物34,000 その他200,000	図書館・生涯学 習センターと併用	B
13	富山県公文書館	2,285	13,087	17,518	複製資料26,000 行政刊行物・図書11,442		A
14	福井県文書館	11,046	30,204	240,121	刊行物17,182	図書館と併用	A
15	長野県立歴史館	117,236	32,244	107,861	刊行物11,029 絵地図21,170	博物館機能と 一体化	B
16	岐阜県歴史資料館	5,814	27,263	383,021	図書等21,339		C
17	愛知県公文書館	4,823	80,934	古文書等 3,349	刊行物77,179	県の行政機関と 併用	A
18	京都府立総合資料館	81,814 (うち歴史 資料課文 書閲覧室 2,623)	61,544	81,735	刊行物92,775(文献課で所 管) 近代文学資料23,782 写真資料6,768	図書館機能を有 する施設と併用	C
19	大阪府公文書館	4,891	11,362	近世近代 資料7,222	公報22,614 官報・議会議事録3,354 行政資料・刊行物78,448 写真7,397 映像・その他5,257		A
20	兵庫県公館県政資料館	30,423	25,487	史資料 10,909	刊行物41,021 布達・公報・官報2,512	迎賓館部門と 併用	A

21	奈良県立図書情報館	499,879	10,416	21,972	図書479,006	図書館として 公文書館機能 をもつ	A
22	和歌山県立文書館	2,625	18,900	72,200	廃棄文書2,900 刊行物・図書等31,090	図書館と併用	B
23	鳥取県立公文書館	12,360	39,801	古文書等 379	マイクロフィルム920,648	図書館と併用	A
24	岡山県立記録資料館	4,013	63,000	113,000	複製資料等28,000		A
25	広島県立文書館	4,987	行政文書 48,381	218,169	行政資料68,787 複製資料40,000 図書16,605	図書館・産業技 術交流センターと併 用	B
26	山口県文書館	入館者数 4,610 閲覧者数 2,312	70,784	202,787	刊行物126,926	図書館と併用	B
27	徳島県立文書館	24,215	17,918	123,783	行政資料61,433 その他23,994		B
28	香川県立文書館	49,495 (文書館の み)	23,331	76,294	刊行物88,742 その他16,713	図書館と併用	A
29	大分県公文書館	576	48,155	—	行政資料24,412 その他7,800 写真・フィルム16,848	図書館・先哲資 料館と併用	A
30	宮崎県文書センター	2,495	—	—	—	—	A
31	沖縄県公文書館	42,897	琉球政府文 書160,692 冊 沖縄県文書 30,716箱	—	行政刊行物57,465冊 地域資料(米国収集資料含 む)3,613,373点		A

・本表は、平成20年9月に三重県が実施した全国の都道府県立公文書館へのアンケート調査の結果及び独立行政法人 国立公文書館発行「全国公文書館 関係資料集」(平成19年5月)に掲載された都道府県立公文書館のデータをもとに作成しました。宮崎県文書センターは公文書館に準じた施設ですが、本データに含めて取りまとめました。

・開館年月日から入館者・利用者数までがアンケート回答に基づくデータ、収蔵資料数と設置状況が「関係資料集」に基づくデータとなっています。アンケートで小数点以下の記載があった面積データは、四捨五入して整数にしています。

・参考として、表の冒頭に三重県生活・文化部文化振興室において実施している県史編さん業務・公文書選別業務に伴って収蔵している資料のデータ(平成20年3月現在)を記載しました。

・類型欄は、設置状況(単独・併設・複合)を踏まえて、下記の基準で分類をしたものです。

A : 公文書が中心(古文書類を収集・保管しているものもある)

B : 主として民間古文書で、行政公文書も収蔵

C : 行政文書・古文書に加え、民俗資料等も収集・保管

・なお、公文書館は、単独で建設されたものよりも、図書館などの施設と併設されているケースが多いこともあり、諸面積、職員数、入館者・利用者数、収蔵資料数などのデータの記載基準は、各館の設立条件・算出方法などにより様々ではありません。

・「文書館」の読みは、千葉県、新潟県、香川県が「ぶんしょかん」、北海道、栃木県、群馬県、埼玉県、福井県、和歌山県、広島県、山口県、徳島県が「もんじょかん」となっています。

\* (1) 延床面積のデータ：茨城県立歴史館は「文書整理保管庫は含まず」、新潟県立文書館は「施設(4,816.44㎡)のうち、文書館専用施設の面積」、兵庫県公館県政資料館は「公文書館機能を担っている歴史資料部門の面積(中間書庫の面積814㎡は含まず)」、鳥取県立公文書館は「図書館と併設、建物は独立しているが共用部あり」、広島県立文書館は「広島県情報プラザに県立図書館、県立産業技術交流センターとともに配置。施設全体の面積 23,674㎡」、山口県文書館は「併設の図書館と合わせ 9,819㎡」との付記データあり。

\* (2) 書庫面積のデータ：福島県歴史資料館は「文書庫252㎡×3層、収蔵庫455㎡」、茨城県立歴史館は「第1書庫338.52㎡・第2書庫226.15㎡、別棟として文書整理保管庫997.7㎡」、長野県立歴史館は「行政文書書庫592㎡、古文書書庫583㎡」との付記データあり。

\* (3) 中間書庫のデータ：秋田県公文書館は「中間書庫は、知事公室情報公開センター文書指導班が所管しており、本庁の地下に記録書庫として設置」、兵庫県公館県政資料館は「文書主管課(文書課)が設置し、原則として完結後1年経過した文書を集中保管する書庫。管理主体は、公文書館機能を担っている県政資料館歴史資料部門ではないが、保管されている公文書等は歴史的文化的価値を有する公文書等の評価選別の対象になる」、鳥取県立公文書館は「本庁に設置、中間書庫という位置づけではないが似た機能を持つ」、広島県立文書館は同館が所在する「広島県情報プラザとは離れた場所に設置」、宮崎県文書センターは書庫を中間書庫としても使用しているが面積としては「特に指定はない」、沖縄県公文書館は「但し、保全年限を延長した一部の公文書の引き渡しを受けている」との付記データあり。

\* (4) 閲覧室のデータ：愛知県公文書館は「閲覧室254.46㎡、閲覧和室31.02㎡」、京都府立総合資料館は「うち歴史資料課文書閲覧室 85㎡」との付記データあり。

\* (5) 職員数のデータ：茨城県立歴史館は「公文書担当以外の職員を含む」、富山県公文書館は「うち兼務1人」、長野県立歴史館は「館全体の人数」、京都府立総合資料館は「職員数は歴史資料課の職員数を示す」、山口県文書館は「図書館総務課(3人)が兼務」との付記データあり。

\* (6) 入館者・利用者数のデータ：秋田県公文書館は「企画展、各種講座の参加者等を含む。なお資料請求者数は一般が707人、県職員利用者数は126人」、兵庫県公館県政資料館は内訳として「閲覧者数190人、展示観覧者数22,526人(他部門含む)、講座等参加者数191人、レファレンス数114人、HP閲覧件数7,402人」との付記データあり。

## 三重県立博物館の概要

～オオサンショウウオの“さんちゃん”がいる博物館～

### 1 施設の概要

- (1) 開館 1953年(昭和28年)6月
- (2) 面積 3,176㎡(敷地、3,581㎡(津市借地含む))
- (3) 所在地 津市広明町147番地2
- (4) 職員数 12人(正規職員8人)
- (5) 収蔵資料 約280,000点  
(人文科学部門:19,300点、自然科学部門:260,700点)
- (6) 利用案内 展示室は2007年(平成19年)10月から閉鎖しています



#### 閉鎖までの状況

- ・開館時間 午前9時30分～午後5時
- ・休館日 毎週月曜日(祝日の場合は開館)、祝日休日の翌日、年末年始
- ・入館料 大人:40円、高大生:30円、中学生以下・65歳以上:無料

### 2 事業概要

1953年(昭和28年)6月、東海地方初の総合博物館として、津市偕楽公園内に開館して以来50年以上にわたり、地域に根ざした展示や教育普及・調査研究活動をとおして、三重の自然と歴史・文化に対する県民の関心を深めるとともに、生活向上と文化の発展に努めてきました。近年、移動展示、体験を重視した博物館教室・フィールドワーク、みんなの博物館サポートスタッフ制度などにより博物館活動の充実を図っていますが、開館後50年以上が経過した現在、建物の老朽化や専門学芸員の不足などのため、来館者の安全や収蔵資料の適正な保存、多様化・高度化する県民ニーズへの対応が不十分な状況にあります。

このような状況の中、2008年(平成20年)3月には「新県立博物館基本構想」がまとめられ「県民とともに成長する開かれた博物館」として新博物館の整備に向けた検討が行われています。

#### (1) 展示室(現在閉鎖中、閉鎖までは次の状況)

本館1階の展示室では、「トバリユウ」「ミエゾウ」など三重を代表する資料や子どもたちに人気の「トリケラトプス」の全身骨格標本のほか、さまざまなテーマで三重の自然と歴史・文化を紹介するミニ企画展を行っています。屋外には特別天然記念物「オオサンショウウオ」の飼育施設や三重県庁近くにあった「鳥居古墳」の石室と石棺を移築復元して展示しています。

「ふれあいルーム」では、化石や動物のはく製のほか、昭和30年代頃までのむかしの道具などを展示し、見るだけでなく実物の展示資料に触れ体感できる体験型展示を行っています。また、「チャレンジルーム」では、昆虫切り絵やパズルに挑戦できるほか、顕微鏡を使った観察などもできます。

#### (2) 移動展示などの活動

県民のみなさんに県立博物館の収蔵資料を身近に感じていただくために、県内各地で「三重県立博物館移動展示」を開催するとともに、自然・人文分野

の資料調査や、体験することを重視した博物館教室・フィールドワーク等の教育普及活動、学校との連携のあり方の調査など、関係施設・関係機関との連携を図りながら博物館活動の充実を図っています。

(3) みんなの博物館サポートスタッフ制度

県立博物館の活動は、三重の自然と歴史・文化に関する調査研究、資料の収集、展示企画など、幅広く実にさまざまです。県民のみなさんの興味関心に基づくテーマ別のグループ活動や博物館に関する研修、移動展示・博物館行事へのボランティア協力、サポートスタッフ通信の発行などを通して、博物館活動に主体的に参画・協働していただく「みんなの博物館サポートスタッフ」制度を平成18年度から立ち上げ、博物館機能の充実・強化を図るとともに、「みんなの博物館」という共通の県民意識を育てています。

3 平成20年度の主な事業

(1) 移動展示（県内5地域6会場）

- ・開催場所：菰野町(6/27～7/20)・四日市市(7/5～9/7)・名張市(8/23～9/2)・松阪市(11/1～11/30)・尾鷲市(11/8～12/7)・伊勢市(1/17～2/1)

(2) 博物館教室

- ・同定会(8/24：津市)
- ・化石レプリカ教室(8/31：名張市、11/22：尾鷲市、2/1：伊勢市)
- ・古文書調査法研修講座 (各10回/2年の連続講座：津市)

(3) フィールドワーク

- ・調べよう！干潟の生きものたち(5/18：津市)
- ・旅をするチョウ アサギマダラの渡りのルートを調べよう！(10/12：鳥羽市、10/18熊野市)
- ・文化財探訪(11/9：松阪市)
- ・冬の里山を調べよう(2/15：津市)

(4) さんちゃんのお食事会(毎月第2土曜日)

(5) 外壁修繕・雨水対策等工事

4 その他

(1) 入館者数

(単位：人)

H15	H16	H17	H18	H19
17,852	14,209	14,988	16,977	12,662

H19は、展示室閉鎖後、県立図書館での企画展3,240人を含む。  
移動展示の入場者数は、H18が26,526人、H19が10,670人。

(2) 事業費の推移

(単位：千円)

H16	H17	H18	H19	H20(予算)
28,033	25,970	60,600	52,258	111,293

H20(予算)は外壁修繕等工事費を含む。

(3) みんなの博物館サポートスタッフ

登録者数 134名(平成20年10月22日現在)

## 【参考資料】

### 1. 名称・設置

名称	三重県立博物館
種別	登録博物館〔1953年(昭和28年)登録〕、総合博物館
設置	「三重県立博物館条例」により設置

### 2. 施設概要

所在地	〒514 - 0006 津市広明町 147 番地 2 TEL 059 - 228 - 2283 , 229 - 8309 FAX 059 - 229 - 8310 ホームページ <a href="http://www.pref.mie.jp/HAKU/HP/">http://www.pref.mie.jp/HAKU/HP/</a> Eメール: <a href="mailto:haku@pref.mie.jp">haku@pref.mie.jp</a>
敷地面積	3,520.65 m <sup>2</sup> および 60.5 m <sup>2</sup> (借地)
建築面積	本館 267.11 m <sup>2</sup> 附属建物 395.29 m <sup>2</sup> 収蔵庫・事務室 (旧図書館) 698.51 m <sup>2</sup>
延床面積	本館 660.48 m <sup>2</sup> 附属建物 395.29 m <sup>2</sup> 収蔵庫・事務室 (旧図書館) 2,120.42 m <sup>2</sup>
建築構造	本館...鉄筋コンクリート 2 階建 附属建物...木造平屋建、トタン・スレート葺 4 棟 収蔵庫・事務室 (旧図書館) ...鉄筋コンクリート 3 階建

本館 及び 木造棟・渡り廊下は昭和 28 年建築。収蔵庫・事務室 (旧図書館) は 1967 年(昭和 42 年)建築、1994 年(平成 6 年)に県立図書館が移転後、当館へ所管替え。

なお、正面の花崗岩製階段は 100 年前の 1907 年(明治 40 年)の第 9 回関西府県連合共進会の「参考館」(共進会后、三重県勸業陳列館となる)の正面階段として設置されたもの。

### 3. 組織 (平成 20 年度)

館長 (1)      主幹 (3)      主査 (3)      主事 (1)

業務補助職員 (4): 資料整理・事務補助・館内清掃

組織上、学芸・事務の区分はありませんが、業務上の区分は次のとおりです。

- ・学芸 (普及事業含む) 部門は、主幹 3 名・主査 2 名・主事 1 名
- ・事務部門は、主査 1 名

## 三重県立博物館所蔵資料の概要

(H20年3月現在)

**収蔵資料総数 279,985点****(自然関係) 260,697点****地学 2,901点**

・恐竜化石 9点

トバリュウ(鳥羽市;12部位)、イグアノドン足跡(鳥羽市;レプリカ)、トリケラトプス(全身レプリカ)、ヒパクロサウルス(全身実物)、サルタサウルス(実物) など

・哺乳類化石 37点

ミエゾウ(亀山市ほか)10点、アケボノゾウ(いなべ市ほか)18点、ゾウ・ワニ足跡化石(伊賀市)、パレオパラドキシア(津市)、ウインタテリウム(全身レプリカ)、コウガゾウ(全身レプリカ) など

・その他脊椎動物化石 20点

モササウルス(実物)、エラスモサウルス(レプリカ)、アンハングエラ(レプリカ)、コチロサウルス(実物)、ディキノドン(実物)、始祖鳥(レプリカ)、シーラカンス(実物) など

・その他化石標本(実物) 964点

一志層群の化石 350点、エディアカラ・バージェス・澄江動物群化石 64点、三葉虫進化標本 112点、アンモナイト進化標本 36点 など

・岩石標本 787点

三重の岩石 669点、日本の岩石 69点、世界の岩石 49点

・鉱物標本 1,005点

三重の鉱物 627点、日本の鉱物 192点、世界の鉱物 186点

・その他標本 79点

隕石6点、石炭54点 など

**動物 218,399点**

・ほ乳類 826点

はく製・仮はく製(ニホンカモシカ、ツキノグマ、イノシシ、アザラシほか)136点、骨格標本(ツチクヅラ、オタリア、キリン、ニホンカモシカ、ウサギほか)81点、液浸標本(ジネスミ、ヒミス、キガシラコウモリほか)361点 など  
日本カモシカセンター寄贈資料(世界のカモシカ類、鈴鹿山系の鳥類・ほ乳類ほか)214点

・鳥類 930点

はく製・仮はく製(オオタカ・ハイタカ・カムリウミスズメ・チュウサギ・コハクチョウ・オシドリ・トモエガモ・シロチドリほか)

・昆虫類 約204,069点

県立博物館収集標本 12,779点、大川氏コレクション約48,000点、刀根氏トンボ標本 633点、北川氏コレクション 932点、世界の昆虫 1,186点、世界のハナムグリ、784点、松浦氏コレクション約80点、森本氏コレクション約750点、梨本氏コレクション約2,000点、大藪氏コレクション843点、三重大学平倉林演習採集資料 44箱(金属箱)、三重県産昆虫標本 30箱 など

・魚類 981点 はく製・液浸標本

・両生類・は虫類 562点 はく製・液浸・含浸標本

・貝類 5,911点 阿部氏コレクション2,011点、金丸氏コレクション2,911点 など

・クモ類 173点 液浸標本

・カニ類 3,632点 乾燥・液浸標本

・異尾類・棘皮類ほか 1,016点 液浸標本

・海岸動物ほか 299点 樹脂標本

飼育標本:特別天然記念物オオサンショウウオ 1匹

**植物 39,372点**

・サク葉標本

原色植物標本 200点、海藻標本 347点、シダ植物標本(山内氏コレクションほか)10,000点、裸子・被子植物標本(県立博物館コレクション・小出氏コレクション・百永氏コレクションほか)12,500点、筒井氏コレクション 10,000点、矢頭氏コレクション2,000点 など

・植物レプリカ 10点

・樹脂標本 2点

**理工資料 25点**

**(人文関係) 19,288点**

**考古資料 513点**

津市鳥居古墳出土資料(県指定文化財)、津市四天王寺出土瓦資料、鳥羽市松の鼻古墳出土資料、志摩町柳谷遺跡出土資料、久居市赤坂遺跡出土資料、泥塔、銅経筒、衣蓋埴輪、灰釉鬼瓦、山吹双鳥鏡、古瀬戸壺 など

**美術工芸 2,703点**

・**絵画書跡 168点**

羅漢図(県指定文化財)、猪狩図(曾我蕭白画)、漁夫図(月僊)、萬歳図(中村左洲画)、舞楽図巻、熊野の本地絵巻、参宮名所図屏、伊勢近江京大坂図屏風、本居宣長像、松平樂翁書、藤堂高通消息、韓天寿消息、足代弘訓和歌、和歌屏風(本居宣長と門人短冊) など

・**版画(浮世絵ほか) 約334点**

保永堂版歌川広重東海道五十三次の内 庄野・亀山・関、歌川立祥東海道五拾三駅の内 四日市・坂の下・石薬師・関、歌川豊春 浮絵駿河町呉服屋図 など

・**工芸品(陶磁器) 2,149点**

古万古盛蓋瓶、安東焼菓子器、阿漕焼大鉢、菊花文大鉢(万古焼)、伊賀蹲壺、万古焼関係資料・伊賀信楽焼関係資料・常滑焼関係資料 など

・**工芸品(武器・武具・その他) 52点**

刀剣(備州長船清光 短刀・備州長船祐定 脇差ほか)18点、銃(火縄銃・管打銃・管打式短銃ほか)26点、当世具足1点、時代造時計1点 など

**歴史資料 11,886点**

・**古文書類 10,216点**

北条義時書状、足利義満御内書、徳川家康書状、墨書古文書(県指定文化財)、伊藤又五郎家文書(藤堂高虎書状ほか)、鳥羽藩須藤家文書、伊勢国足坂村文書、天花寺村加藤家文書、伊賀国鞆田村服部家文書、丹羽家文書 など

・**典籍・古記録類 909点**

濃尾勢三大川宝曆治水誌、熊沢蕃山伊勢参宮記、伊勢参詣道中覚書、藤堂家譜、耕作図巻、神昌丸漂流問答、勢州白子神昌丸漂流一件、江戸時代寺子屋で使用した教科書(91冊)・明治時代の教科書(50冊)、ファウナヤポニカ など

・**絵図・地図類 80点**

東海道分間絵図、伊勢国大絵図、大日本輿地便覧、伊勢松坂城下図、勢州桑名城之図、伊勢本街道図、坂下宿絵図、木曾川河口輪中絵図、三重県管内細見図 など

・**貨幣 87点** 藩札(県内各藩ほか)

・**引札 97点** 三井呉服店引札・松阪引札・伊勢引札・引札扇面四日市港 など

・**絵葉書 474点** 明治から昭和にかけての三重県内で発行された観光用絵葉書 など

・**その他 23点** 看板(萬金丹看板・講社板ほか)10点、板木(自認通抄千家集・夢亭詩抄ほか)6点、籠5点 など

**民俗資料 4,186点**

・**衣食住関連 300点**

・**信仰関連 92点** お陰参り杓子(文政13年)、西国三十三カ所巡礼帷子 など

・**生業・生産関連 500点** 伊勢型紙関係資料・軽粉資料・伊勢木綿関連資料

・**交通・運輸・通信関連**  
・**芸能・娯楽関連**  
・**社会生活関連**  
・**年中行事関連** } 3,294点

**図書関係 約48,100点**

購入図書、寄贈図書(国内関係機関・研究者など個人)

## (資料6)

# 三重県生活・文化部 文化振興室(県史編さんグループ)所蔵資料の概要

(H20年3月現在)

収蔵資料総数 140,814点

(県の歴史的公文書資料) 15,811点

選別公文書 4,192点

・平成6年度から選別作業を実施

毎年、引継を受けた保存期間5年以上で保存期間の終了した公文書から、歴史的公文書として選別保存する基準として指定している条例・規則、重要な施策・企画、許可・認可・重要な契約、行政区画、重要な行事・災害など15項目に該当するものを選別して簿冊単位で保存している。

明治期県庁文書・絵図類 11,619点

・明治期県庁文書 7,359点

三重県庁に、永く保存されてきた明治期を中心とした公文書等。明治初年の度会府(県)の文書や明治9年の地租改正反対一揆の一括資料、勸業博覧会・品評会の出品目録、市制町村制施行に伴う町村分合取調書類、神宮周辺の神仏分離に関する文書など

・絵図・地図類 3,475点

幕末から明治期にかけての国絵図(伊勢国全図・伊賀国絵図・三重県管内全図)、村絵図(紀伊国南牟婁郡鵜殿村全図・紀伊国北牟婁郡中井浦全図)、地籍図(6,000分の1彩色図・志摩郡各村縮図下図・伊賀国伊賀郡各村絵図など)、街道図(度会県本庁支庁宿駅図・伊勢国内海航路略図・郵便線図・鳥羽街道道路改修図・伊勢街道実測図など)、河川図(木曾揖斐両川堤防測量原図・三重朝明両郡関係海蔵川測量図・伊州上野長田川筋城州笠置迄川絵図など)、海岸・港湾・灯台図(伊勢海岸絵図・志摩国海岸測量下図・四日市港近傍町村之図・菅島灯台絵図など)、城郭図(桑名旧城郭並市街実測・亀山城郭絵図・津御城内御建物作事覚四・久居陣営之図、元山田奉行屋敷図・鳥羽城之絵図など)

・戦前・戦後公文書など 785点

(歴史資料) 125,003点

県史編さん収集資料 45,078点

・刊本・複製本 37,629点

県史編さんの参考資料として収集した例規・県公報等の製本 1,729点

前近代(明治以前)文書製本・資料集刊本 7,900点

近現代刊本・複製本 28,000点

・映像フィルム・写真 6,239点

広報写真ネガ 528点、映像フィルム 121点、前近代マイクロフィルム 3,017点、近現代マイクロフィルム 1,473点、美術工芸等写真 1,100点など

・調査カード 1,210点

西家・山崎家等資料調査カード綴 1,210点

古文書など 79,925点

・前近代(明治以前)古文書類 29,005点

伊勢国一志郡田尻村文書(一括)、伊勢国鈴鹿郡小野村文書(一括)、江国大溝藩 分部家文書(一括)、伊勢神宮宮司家文書、高田本山細川家文書、桑名町本木屋文書(一括)、安濃郡藤枝文書(一括)など

・近現代古文書類 50,920点

神宮司廳赤須忠良氏文書、天理図書館寄贈文書(一括)、東海道鉄道旅行独案内附伊勢参宮道中記、三重県一志郡桃園村大字木造字分図、改正三重県郡村明細図、三重県案内、第九回關西府縣聯合共進會絵図、三重縣細見全図など

## 県立博物館整備に関する経緯

三重県生活・文化部作成

年 月	整 備 に か か る 経 緯
S 2 8 年 6 月	三重県立博物館 開館
S 6 1 年 2 月	三重県文化審議会「三重県における博物館構想」答申
H 1 年 1 0 月	・ 斎宮歴史博物館 開館
H 3 年 3 月	県議会「県立中央博物館の早期建設について」請願採択
H 5 年 7 月	▼「三重県センター博物館(仮称)基本構想」公表
H 6 年 3 月	「三重県センター博物館(仮称)基本計画」策定
H 6 年 1 0 月	・ 総合文化センター開館(県立図書館開館)
H 7 年 3 月	「三重県センター博物館(仮称)展示基本設計」策定
H 7 年 4 月	「三重県公文書館(仮称)基本計画」策定
H 8 年 2 月	「三重県公文書館基本設計」策定
H 8 年 3 月	「三重県センター博物館(仮称)建築基本設計」策定 センター博と公文書館、同一敷地内に別棟として設計 その後、経費圧縮のため合築計画に変更
H 1 0 年 3 月	センター博・公文書館計画白紙に(「ハコ物」建設抑制方針)
H 1 0 年 8 月	「新しい博物館を考える懇話会」設置
H 1 1 年 3 月	「新しい博物館についての提言」(懇話会中間報告)
H 1 2 年 3 月	「私たちのもとめる博物館についての報告」(懇話会最終報告)
H 1 4 年 3 月	↓ 県議会「三重県における自然系博物館整備を求める請願書」採択 懇話会の最終報告以後、実現に向けた検討が重ねられたが結論得られず
H 1 4 年 1 1 月	博物館整備検討プロジェクト会議を設置し、再度、当初の基本構想をふまえ、新たな検討をすることに
H 1 5 年 3 月	自民党県議団・無所属 M I E「ミュージアム構想に関する提言(第1次)」提出
H 1 6 年 1 月	「三重県の新しい博物館のあり方について 提言」(博物館整備検討プロジェクト会議)
H 1 6 年 5 月	↓ プロジェクト会議の提言をうけて、自然資産・文化資産調査および新博物館整備検討業務実施 12月完成 一方、公文書館計画は、その一環として「歴史資料の保存活用環境づくり事業」を実施(H16~18年度)
H 1 7 年 3 月	「三重県立博物館整備にかかる当面の方針」公表 財政事情から博物館の建設は当面見送り、現博物館の改修(暫定整備)と移動展示を先行実施することに
H 1 8 年 1 0 月	「暫定整備基本設計・耐震補強計画」策定 精査の結果、改修に多額の費用がかかることが判明
H 1 9 年 2 月	知事選挙公約に新博物館構想の検討を掲載
H 1 9 年 7 月	三重県文化審議会に「三重の文化振興方針(仮称)」および新博物館のあり方についての検討を諮問
H 1 9 年 1 0 月	県議会「新県立博物館整備にかかる基本的考え方」を提言
H 2 0 年 2 月	三重県文化審議会より「三重の文化振興方針(仮称)」および新博物館のあり方についての答申なされる
H 2 0 年 3 月	「三重の文化振興方針」および「新県立博物館基本構想」を策定

の詳細については、次頁の資料7別紙を参照

## 県立博物館整備に関するこれまでの検討内容の概要

三重県生活・文化部作成

名称	「三重県における博物館構想」答申( )	三重県センター博物館(仮称)基本計画	私たちのもとめる博物館についての報告	三重県の新しい博物館のあり方について 提言
会議	三重県文化審議会	三重県センター博物館(仮称)建設委員会	新しい博物館を考える懇話会	博物館整備検討プロジェクト会議
時期	昭和61年2月	平成6年3月	平成12年3月	平成16年1月
特徴	センター博物館(中央博物館)と5つのテーマ博物館(地域別専門博物館)によるネットワークの構築をめざす。 (斎宮歴史博物館はこの構想をもとに設置(平成元年10月))	昭和61年2月の答申を受け、基本構想(平成5年度)を経た上で策定。  県民の学習と学術文化の拠点、三重県の自然・歴史・文化のデータバンクとして、県民の交流と地域の国際化を展開する総合・センター博物館。	・自然系に重点を置いた博物館 ・県民が主体的に企画・運営に関わる県民参画型の博物館	コア博物館とサテライト(圏域博物館)が活動の両輪となる県民参画型の総合博物館。生涯学習施設・県総合文化センターとの連携を重視。(総合博物館)サテライトの施設は、学校の空き教室・公民館等の既存の施設の活用や、県内の他の博物館の協力などを想定。
目的	新たな文化を創造する場をめざす 三重県の自然及び歴史文化の保全と紹介	三重県の自然・歴史・文化を総合的にとらえ、日本・世界の中での位置づけを探るとともに、県民の交流と地域の国際化をうながす活動の場づくりを行う。	過去・現在を知ることにより、自然と人の未来を考える役割を担う。 企画段階からの県民参画や、五感による感受性、体験型を重視した活動を行う。 活動全般に県民が主体的に関わり、誰でもが楽しむことができる博物館とする。	人づくりに役立つ生涯学習施策を提供し、三重県を魅力ある社会にするための活動を行い、その拠点となる。
テーマ・コンセプト等	三重県の独自性を打ちだした博物館 具体的な課題を軸に、学際・国際的な交流ができる博物館づくり 親しみやすく魅力に富む博物館 学校教育・生涯学習と博物館の連携 最も進んだ情報技術を取り入れた博物館間の連携 真のニーズに立脚した博物館づくり	21世紀を想定した博物館 地域特性を活かした拠点となる博物館  ・総合博物館 ・センター博物館 ・県民に開かれた博物館	「自然と人の交差点」 自然系博物館と位置づけながらも、自然そのものだけを対象とするのではなく、自然と日常的な人のくらしとのかかわりの変遷や、これからの自然と人のあり方、つきあい方などについて、長期的な視点での探求を究極の目的とする。  ・未来を考える博物館 ・楽しい博物館	「みえ 人と自然の対話」 (サブテーマを5~6年ごとに設定)  「豊かなみえの自然と歴史を発見し、体験し、感動するミュージアム」 常にわくわくする心と新しい出会いがある博物館

「三重県における博物館構想」は、県全体における博物館整備についての答申であるが、この表の作成にあたっては、県立博物館にかかる記述を中心に整理した。